

第13回日本モビリティ・マネジメント会議 13th JCOMM 利用者要望を反映したバスマップ作成によるバス利用意識の向上効果 ～三重県名張市のはたっこ号を事例に～

名張市役所 都市整備部 都市計画室, 名城大学 理工学部 社会基盤デザイン工学科 松本研究室

三重県名張市と美旗地域コミュニティバス「はたっこ号」の紹介

名張市
～福祉の理想郷づくり～
地理 県西部に位置し、美しい自然に囲まれている
人口 78,926人(2018年7月1日現在)
交通 はたっこ号, 他地区コミュニティバス
近鉄, 三重交通



はたっこ号の紹介

運行目的 名張市美旗地区の交通不便地の解消を図ること
運行時間 平日のみの運行, 8:15～17:51
運行本数 東ルート4本, 西ルート4本
運賃 1乗車200円(小学生100円, 障害者等無料)

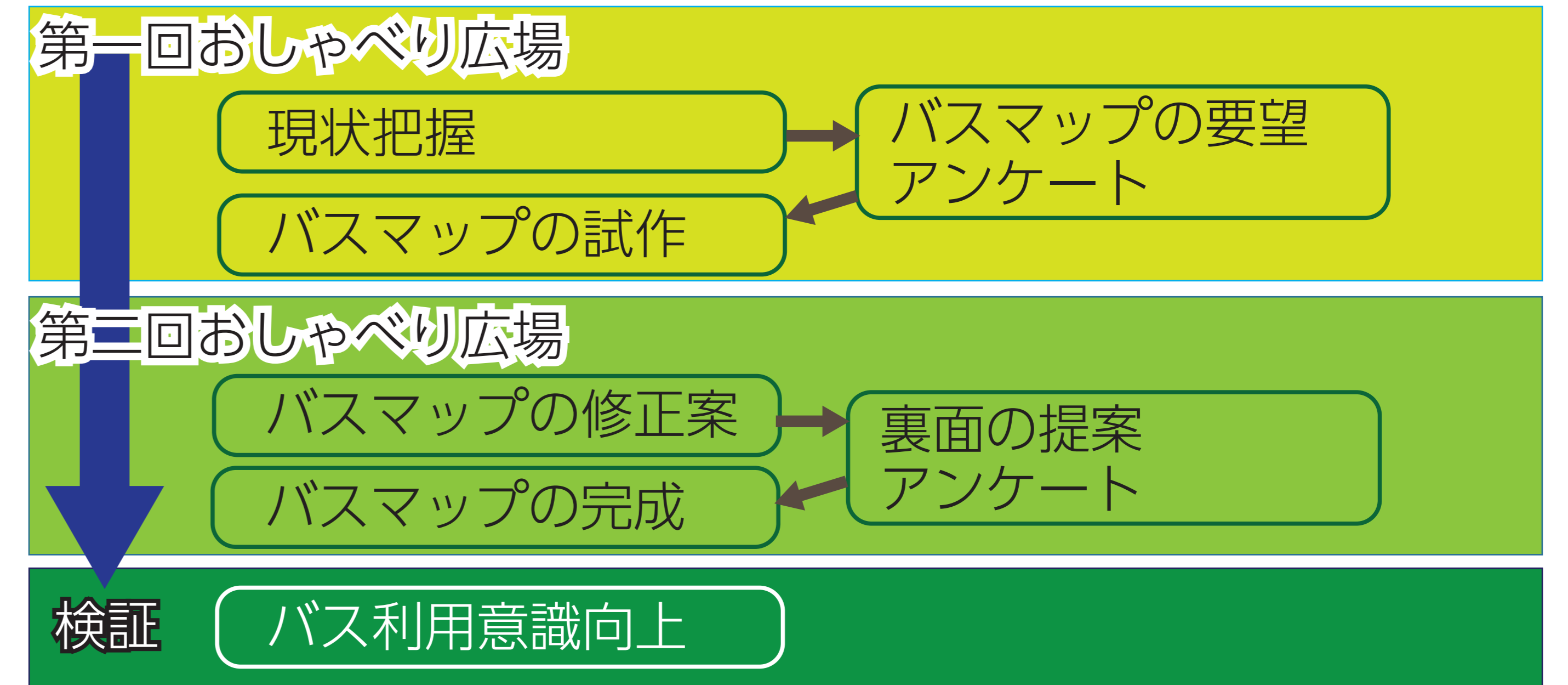
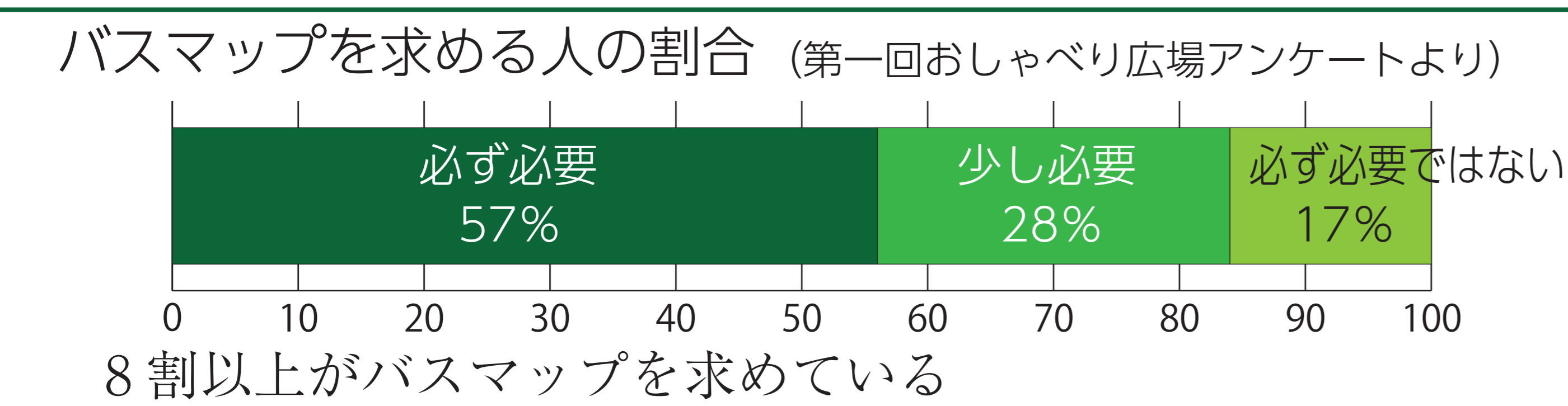


研究目的と流れ

コミュニティバスの財政負担は大きく、持続的な運行には利用促進が欠かせない

増便・ルート変更…高コスト
バスマップ……………低コスト

バスマップに焦点 → 高齢者にも利用しやすくなるようなバスマップの製作(はたっこ号にはバスマップが無い)



- 目的
- ・大学生が運営するワークショップ(WS)を通じて利用者が求めるバスマップの製作を目指す
 - ・WS参加者のバス利用に対する意識がどう向上したかも把握

第一回おしゃべり広場の開催

(18人参加)

バスマップへの要望

- ・テーマ別にする
- ・図案化した形式
- ・A3サイズ
- ・文字はシンプルに大きく
- ・イラストと写真をメイン
- ・路線図と時刻表を横に並べると見やすい など



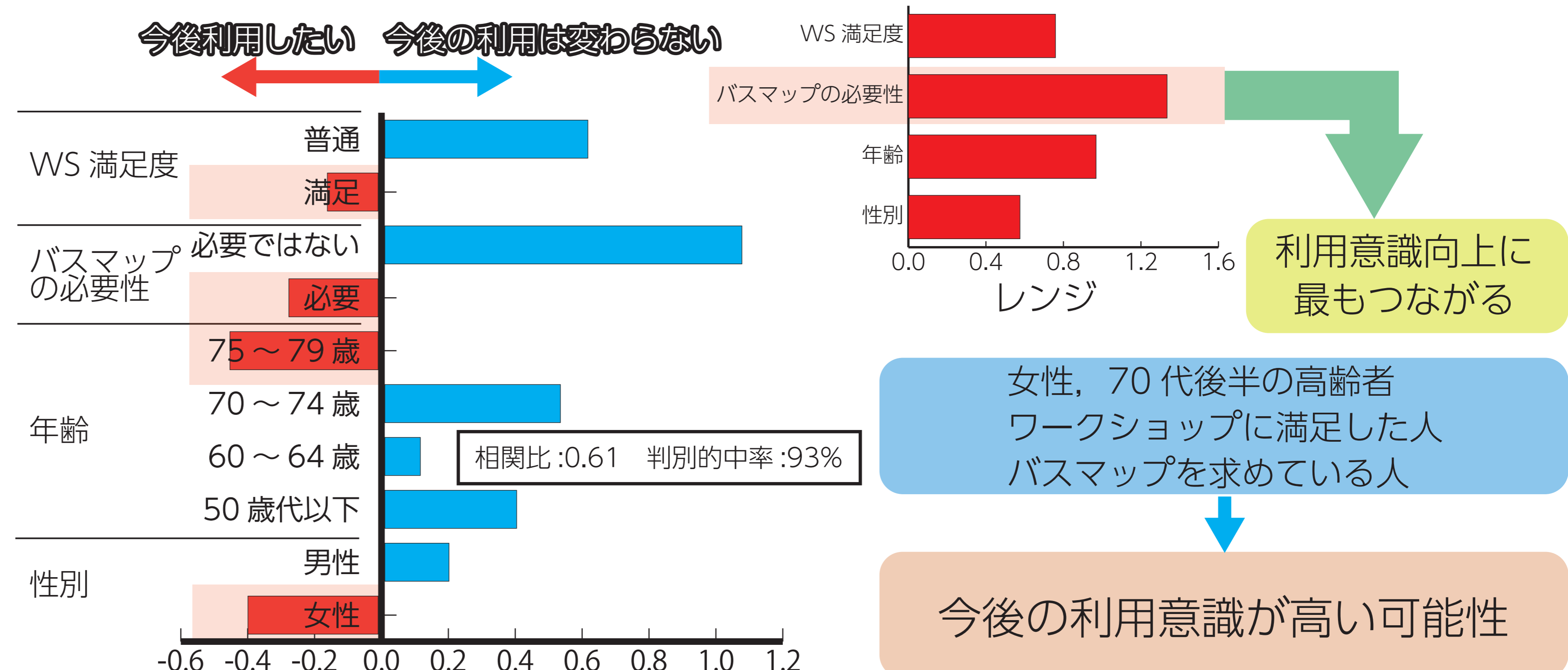
WSの様子



採用した要素

- ・おでかけに特化
- ・図案化した形式
- ・A3サイズ片面
- ・私の時刻表
- ・イラストを挿入
- ・路線図と時刻表を横に並べる など

WS参加によるバスの利用意識向上 アンケート結果を数量化理論第Ⅱ類で分析



第二回おしゃべり広場の開催

(11人参加)

試作バスマップを用いたWS開催→バスマップの問題点・実際に試用する



出来る限り反映

バスマップへの課題

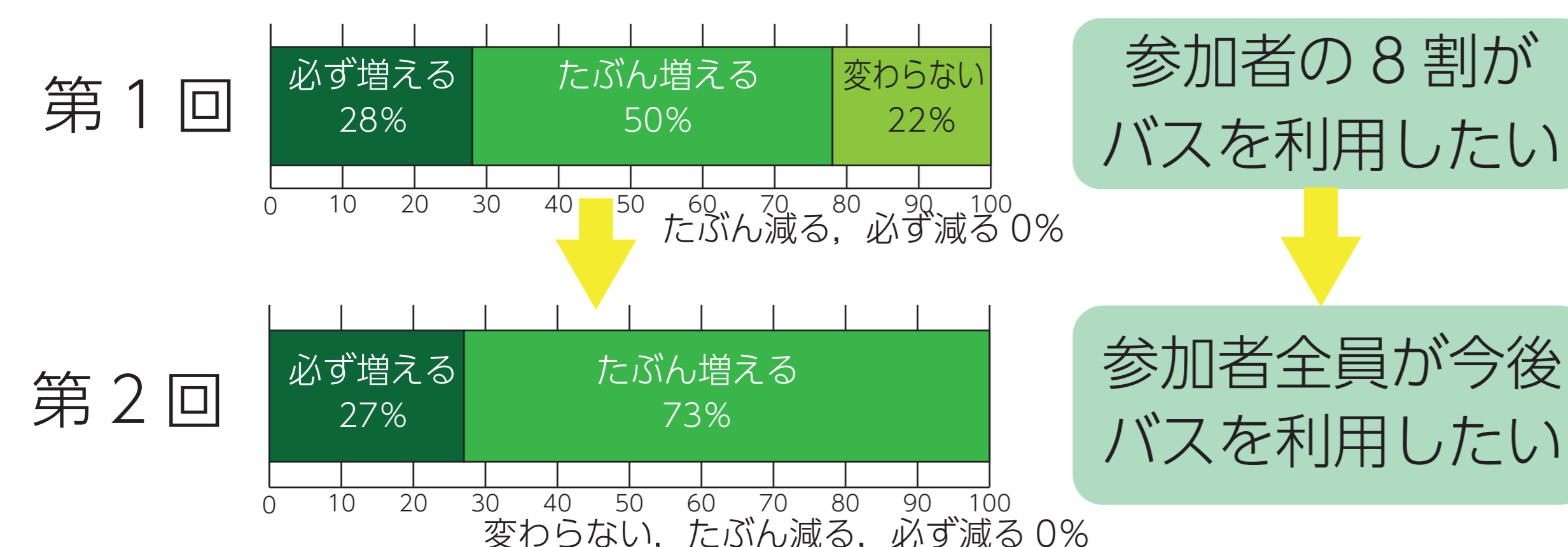
- ・文字が小さい
- ・他コミュバスがない
- ・乗換案内イラストは不要
- ・私の時刻表は不要
- ・とある施設がない
- ・店舗情報が欲しい など

裏面への要望

- ・はたっこ号の大きな時刻表
- ・観光案内のイラスト
- ・タクシーの電話番号
- ・Uターン箇所案内
- ・企業広告
- ・おすすめスポット など

まとめと今後の課題

アンケートによる今後の利用意識の把握



まとめ・大学生が運営するワークショップを通じて利用者が求めるバスマップの作成
・バスマップを用いたワークショップの開催

今後の利用意識向上

今後の課題

- ・バスマップを配布した後の効果を利用実態調査によって明らかにする
- ・改良箇所毎の差異を明らかにする